

令和8年度 美香保中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：33001

「学ぶ力」～札幌市共通指標の「R5年度-R7年度」の結果比較から…	
成果	課題
「分からないことは分かるまで努力するようにしている」生徒の割合が 10.2 ポイント上昇し、75.7%となった。また、「自分でやり遂げると決めたことは、やり遂げるようにしている生徒の割合が 6.0 ポイント上昇し、83.0%となった。「粘り強く挑む力」の育成に向けた土壌が形成されている。	「自分の意見を進んで発言しようとしている」生徒の割合が 8.1 ポイント上昇し、56.1%となった。生徒の意識は着実に向上しているが、依然として肯定的な回答率は低い。この課題こそが、「心をつなぐコミュニケーション力」の育成が必要な根拠となる。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合が 4.8 ポイント上昇し、84.3%となった。また、「自分が必要とされていると感じる」生徒の割合が 12.6 ポイント上昇し、72.6%となった。さらに、「人の役に立ててうれしい」と回答した生徒の割合が 6.2 ポイント上昇し、95.2%となった。目指す学校像「ばらばらで一緒」の理念が浸透し、生徒の居場所感が向上してきている。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「粘り強く挑む力」と「心をつなぐコミュニケーション力」

課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
<p>◇研究テーマ『心をつなぎ、新たな価値を創造する「協働探究」』 ～共通解から納得解へと導くサークル対話と、粘り強く挑む学びの深化～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話によって知識・思考を関連付けて駆動する協働探究の充実 ・「探究の土台」となる道徳科の充実 →「議論を通して見出す‘共通解’」「深く考え抜いた末に見出す‘納得解’」「主体的な社会参画」を充実の切り口とする。 <p>「課題探究的な学習」と「自治的な活動」における協働探究の共通の手立て 『サークル対話』の推進 「コア・サークル対話」「ステップ・サークル対話」</p>	<p>◇令和8年度生徒会スローガン『ブレイクスルー』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校「ごちゃませ」の取組の創造 →全校美中オリンピックの開催、LST（異学年学び合い）等 ・小中「ごちゃませ」の取組の創造 →みかほっ子運営委員会の拡充、みかほっ子交流会の開催（新規）等 ・学校、地域「ごちゃませ」の取組の創造 →みかほっ子サミットの拡充、笑顔の華が咲く放課後活動PJの具現化等 <p>◇教育課程柔軟化サキドリ研究校事業の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の拡充 ・美香保中学校合唱スタンダードの構築
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
<p>◇課題探究的な学習～個別探究、協働探究における生成 AI の活用・ICT を活用したプレゼンテーションスキルの向上・校内教育支援センターにおける端末の活用</p> <p>◇自治的な活動～生徒会の声を集約する「美中 BOX」・オンラインによる「みかほっ子運営委員会」・ICT を活用して全校生徒が関わる「みかほっ子サミット」</p>	

<本プログラムの実行に向けて> ※変化を恐れない「実践者」として教職員自らがブレイクスルーを起こす。

<p>新年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇校内研修会（教職員） 4/7 ◇教育課程説明会（生徒） 4/10 ◇教育課程説明会（保護者） 4/21 ◇学校運営協議会（地域） 4/14 	<p>【一人一人の教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇日常の授業改善 ◇学級運営計画に基づく学級活動の推進 ◇生み出した余白を活用した子ども理解 ◇各自の研修…札教研、年次研修等 	<p>【学校全体】サキドリ事業を活用した研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇そもそもを問う校内研修会の拡充 ◇道徳科を窓口とした授業研究の推進 ◇パートナー校合同研修会（学期に1回） ◇みかほっ子を語る会（1月） 	<p>次年度△</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇着目する資質・能力の確認 ◇育成プログラムの見直し ◇校内研修会の成果・課題と次年度の学校経営方針のリンク
---	--	--	---

